



エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月

株式会社新潟市環境事業公社

2023年度

2024年9月1日発行

目 次

1. 組織の概要	・・・ 1
2. 対象範囲	・・・ 5
3. 環境経営方針	・・・ 6
4. 2023年度の実績	・・・ 7
5. 環境経営目標の達成状況とその評価	・・・ 11
6. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の環境経営計画	・・・ 19
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・ 24
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・ 25

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 新潟市環境事業公社
代表取締役社長 横山 正直

(2) 所在地

① 本社

〒950-2033 新潟県新潟市西区亀貝 1 6 2 1 番 3
TEL:025-201-6200 FAX:025-201-6264
<https://ngt-kousya.co.jp/>

② 第一事業部 業務課 リサイクルセンター

〒950-2172 新潟県新潟市西区内野上新町 1 2 9 8 8 - 2

③ 第二事業部 下水道課 (新潟市中部下水処理場内)

〒950-1146 新潟県新潟市中央区太右ヱ門新田 1 4 2 2 - 3 TEL:025-285-2268

④ 第二事業部 清掃課 資源再生センター室 (新潟市資源再生センター内)

〒950-0885 新潟県新潟市東区下木戸 3 丁目 4 - 2 TEL:090-1433-6998

⑤ 第二事業部 清掃課 新田破碎センター室 (新潟市新田清掃センター内)

〒950-2123 新潟県新潟市西区笠木 3 6 4 4 - 1 TEL:090-8742-8642

⑥ 第二事業部 清掃課 亀田粗大センター室 (新潟市亀田清掃センター内)

〒950-0162 新潟県新潟市江南区亀田 1 8 3 5 番地 1 TEL:080-8908-3885

* 対象事業所は①本社及び②リサイクルセンター

* ③～⑥は地方公共団体の施設維持管理業務を行う部署及び場所

(3) 環境管理責任者名及び連絡担当先

環境管理責任者 : 上田 成美 (総務部長)

環境事務局 : 宮路 幸夫 (総務課長)

TEL:025-201-6200 FAX:025-201-6264 E-mail:kousya-soumu@orion.ocn.ne.jp

(4) 事業活動の内容

- ・ 一般廃棄物収集運搬業
- ・ 産業廃棄物収集運搬業
- ・ 浄化槽及び污水处理施設の維持管理
- ・ ビルその他建物の清掃及び維持管理
- ・ 上下水道並びに衛生設備・貯水槽の維持管理及び清掃に関する事業
- ・ 薬剤散布等環境衛生に関する事業
- ・ 廃棄物等資源化に関する事業 (廃棄物の回収及び販売、缶類の圧縮処理)
- ・ 公共団体より受託する事業 (下水処理場の維持管理、廃棄物処理施設の維持管理及び廃棄物による埋立地の鎮圧整地)

(5) 事業の規模

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
一般廃棄物収集運搬量	t	39,543.69	38,679.57	36,400.78
産業廃棄物収集運搬量	t	1,247.66	1,071.83	1,081.17
缶類・古紙類収集運搬量	t	1,074.15	1,046.30	1,036.86
従業員数	人	228	221	221
売上高	百万円	1,793	1,799	1,817
延床面積	m ²	2,366.65	2,366.65	2,605.27

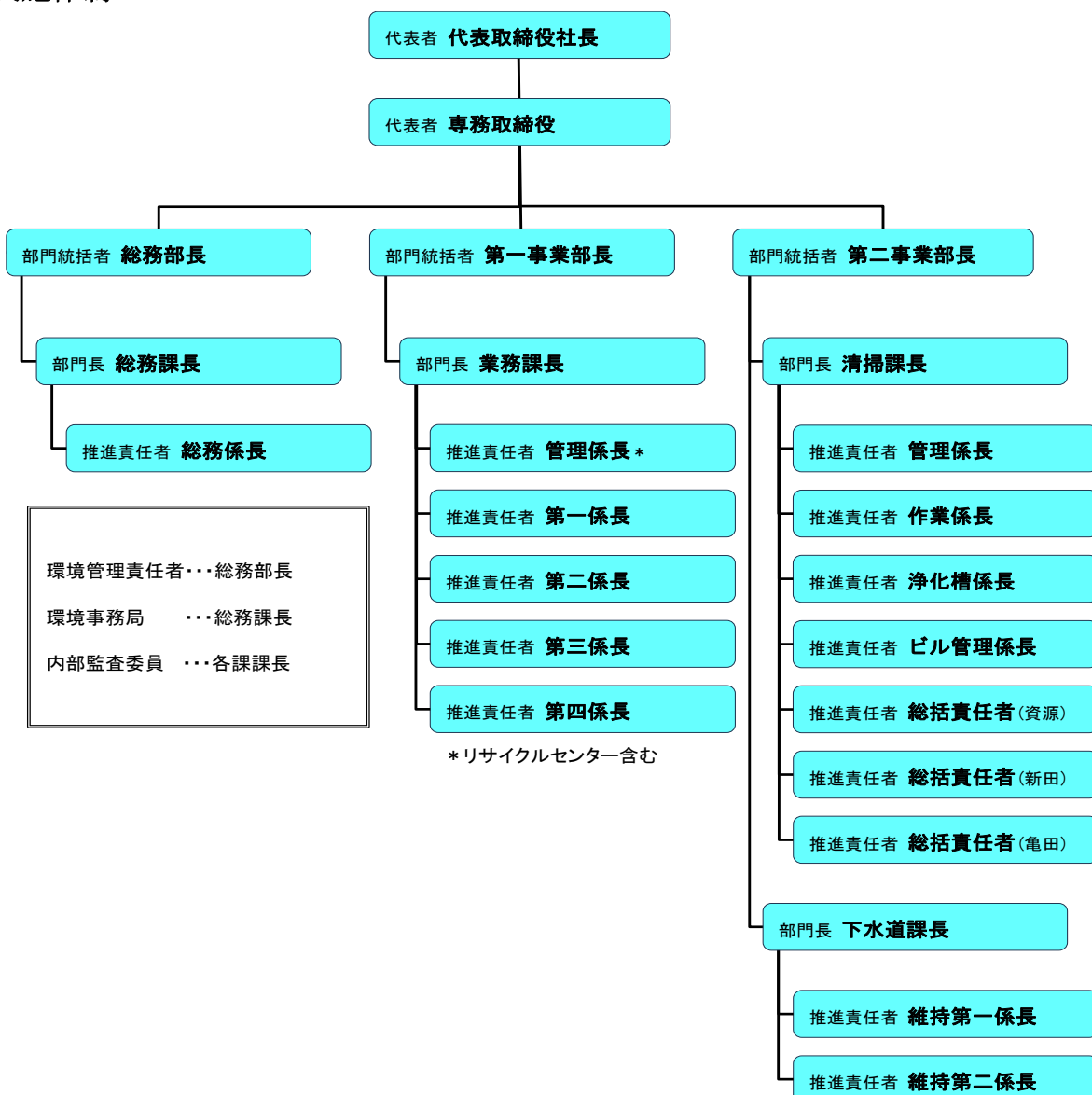
(6) 法人設立年月日 1969年3月10日

(7) 資本金 5,000万円

(8) 環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量	kWh	98,108.0	95,510.0	113,167.0
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	998,662	994,439	962,371
水資源投入量	m ³	4,174.0	4,180.0	4,377.0

(9) 実施体制



◇順位及び主な責任と権限

順 位	主な責任と権限
代表者 (社長)	環境経営方針の策定と、エコアクション21環境マネジメントシステムの統括 経営における課題とチャンスの明確化 環境活動への取組を適切に実行するための実施体制の構築と資源(人・物・資金・情報) を準備 環境経営方針の策定・見直し、全社員への周知／取組状況を評価し全般的な見直しの実 施及び指示 環境管理者の任命／環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (総務部長)	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価／環境経営レポートの確認と公表
事務局 (総務課長)	環境経営における事務局としての環境管理責任者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規のとりまとめ／環境経営レポートの作成／環境管理責任者への報告
部門長 (課長)	自部門の是正・予防措置を講じる 自部門の緊急事態の訓練を行いその結果を記録
内部監査委員(課長)	環境マネジメントシステムが、適切に実施、維持されているかを監査
推進責任者 (室長・係長・主任)	環境経営の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
社員	環境経営方針、環境経営目標に沿った環境経営計画の展開 環境活動における改善点の提言

◇人員配置及び車両台数

(2024年3月31日現在)

	社員数	ガソリン車台数	軽油車台数
① 本社	132	17	79
役員・総務	10	2	
廃棄物収集運搬業務	93	4	68
し尿収集運搬業務	9	1	6
浄化槽保守点検及び清掃業務	13	8	6
ビル管理業務	7	2	3
② 第一事業部 業務課 リサイクルセンター	2		1
③ 第二事業部 下水道課 (新潟市中部下水処理場内) 業務受託	35	1	1
④ 第二事業部 清掃課 資源再生センター室 (新潟市資源再生センター内) 業務受託	17		
⑤ 第二事業部 清掃課 新田破砕センター室 (新潟市新田清掃センター内) 業務受託	25		1
⑥ 第二事業部 清掃課 亀田粗大センター室 (新潟市亀田清掃センター内) 業務受託	10		
全 社 合 計	221	18	86

(10) 廃棄物処理業の概要

① 産業廃棄物収集運搬業の許可内容

◇事業の基本計画

1969年3月市内のし尿汲取業者16社の企業合同により、新潟市から出資を受け会社設立。新潟市の委託を受け、一般廃棄物収集運搬業を主な事業としている。

産業廃棄物の収集運搬については、収集運搬車両80台を用いて新潟市を中心に行い、廃棄物処理法を遵守して行う。

◇産業廃棄物収集運搬業

許可区域	許可年月日	事業の範囲
	許可有効期限	
	許可番号	
新潟市	2024年4月15日	収集・運搬 (積替え・保管を除く。)
	2029年4月14日	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(以上、石綿含有産業廃棄物を含む。)、燃え殻、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、鋳さい、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物(以上、18種類) (積替え保管含む。)
	5910006722号	汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(以上、水銀使用製品産業廃棄物含む。)木くず(以上、5種類)

許可区域	許可年月日	事業の範囲
	許可有効期限	
	許可番号	
新潟県	2024年10月1日	収集・運搬（積替え・保管を除く。） 汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上、石綿含有産業廃棄物を含む。）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、鋳さい、動物の死体、ばいじん、法施行令第2条第13号に規定する産業廃棄物（以上、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含むばいじん等を除く。）
	2029年8月31日	
	1508006722号	

◇特別管理産業廃棄物収集運搬業

許可区域	許可年月日	事業の範囲
	許可有効期限	
	許可番号	
新潟県	2024年2月19日	収集・運搬(積替え・保管を除く。) 感染性産業廃棄物
	2029年2月3日	
	1558006722号	

◇産業廃棄物収集運搬業事業の用に供する全ての施設

運搬車両の種類	台数	運搬品目
塵芥車	45	
ダンプ	8	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上、石綿含有産業廃棄物を除く。）
キャブオーバー	14	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、鉋さい、動物の死体、ばいじん（以上、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含むばいじん等を除く。）
糞尿車	6	法施行令第2条第13号に規定する産業廃棄物
普通貨物バン	1	
小型貨物バン	3	
清掃車（吸引車）	2	
脱臭装置付コンテナ専用車	2	
冷蔵貨物バン	1	感染性産業廃棄物

② 一般廃棄物収集運搬業の許可内容

許可区域	許可年月日	取扱廃棄物の種類
	許可有効期限	
	許可番号	
新潟市	2024年4月1日	一般ごみ、木くず類、浄化槽汚泥
	2026年3月31日	
	指令第4号	

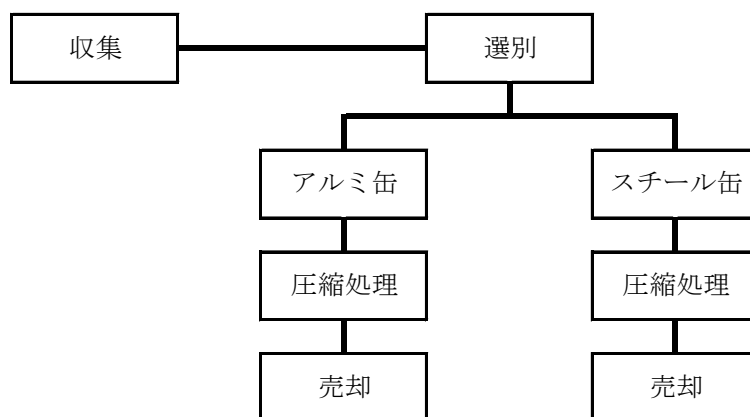
※一般ごみ、浄化槽汚泥及び汚泥の収集区域は、２００５年３月２０日現在の新潟市域、亀田町域及び横越町域とする

③ その他の許可内容

許可区域	許可番号	許可年月日
		許可の有効期限
浄化槽清掃業 (新潟市)	指令第 2 0 1 号	1972年04月01日から
浄化槽保守点検業者 (新潟市)	新潟市長 (登) 6 0 第 2 7 号	2021年01月01日から 2025年12月31日まで
建築物飲料水貯水槽 清掃業 (新潟市)	新潟 5 6 第 4 1 4 0 2 9 号	2023年09月01日から 2029年08月31日まで
建築物清掃業 (新潟市)	新潟 1 9 9 8 第 1 1 4 0 0 2 号	2022年01月16日から 2028年01月15日まで
指定排水設備工事店 (新潟市)	第 7 4 3 号	2020年07月01日から 2025年06月30日まで
下水道処理施設維持管理 業者 (北陸地方整備局)	処 2 4 - 1 2 1	2022年08月31日から 2027年08月30日まで
古物商 (新潟県公安委員会)	第461030001210号	2010年08月12日から
資源回収業者登録 (新潟市)	登録No. 6 9 号	2004年03月05日から

④ 缶類の圧縮施設の状況

- ・処理能力 : 1. 5 トン/時
- ・処理フロー



2. 対象範囲

(1) エコアクション21マネジメントシステムの対象範囲

全組織・全活動を対象範囲としています。

- ① 本 社
- ② 第一事業部 業務課 リサイクルセンター
- ③ 第二事業部 下水道課 (新潟市中部下水処理場内)
- ④ 第二事業部 清掃課 資源再生センター室 (新潟市資源再生センター内)
- ⑤ 第二事業部 清掃課 新田破砕センター室 (新潟市新田清掃センター内)
- ⑥ 第二事業部 清掃課 亀田粗大センター室 (新潟市亀田清掃センター内)

* 対象事業所は①本社及び②リサイクルセンター

* ③～⑥は地方公共団体の施設維持管理業務を行う部署及び場所

3. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

株式会社新潟市環境事業公社は、市民サービスと環境衛生の向上をモットーに清掃事業の一翼を担っています。

新潟の美しく恵まれた環境を次代に引き継ぐため、地域社会の一員として、人・自然にやさしい企業を目指し、創業以来培った実績を基に、「ごみ」と「水」と「地球環境」の課題に真剣に取り組めます。

このため、伝統を守り、また時代のニーズに適応した改革を進め、田園型政令市・環境先進都市新潟の実現の一翼を担うべき、清掃・環境事業にまい進します。

基本方針

- 1 資源の有限性や地球環境の保全の重要性を理解し、全員参加で環境保全の取り組みを行い、環境経営の継続的改善を誓約し、その改善活動を進めます。
- 2 環境関連法令を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
- 3 環境への負荷の低減に心がけ、以下の環境活動を進めます。
省エネルギー及び省資源に努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
節水活動を進め、水使用量の削減に努めます。
分別の徹底等により廃棄物排出量の抑制に努めます。
- 4 事業の展開にあたり、以下を念頭に置き、事業活動を行います。
収集運搬する事業系一般廃棄物について、循環資源の再資源化を進めます。
受託事業の実施において、委託者の環境保全に対するニーズに対応し、その実現に努めます。
- 5 経営における課題とチャンスをつまえた効率的な事業運営を行う為の、組織の構築と資源の準備に努めます。
- 6 使用する事務用品等については、グリーン調達に努めます。

株式会社 新潟市環境事業公社
代表取締役社長 横山 正直
2010年6月19日 制定
2022年4月 1日 改正

4. 2023年度の実績

2020年度を基準年実績とした中長期的環境経営目標は、全社及び各部門ごとに定め
ており、その内容及び2023年度の実績は下表のとおり。

(1) 中長期環境経営目標

◆全社の環境経営目標

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（全社）と2023年度の実績

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境経営目標（基準年比削減率％）				実 績	
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
				2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○：達成 ×：未達成	
二酸化炭素排出量の削減	用電 量 力 ①使	合計	kWh	103,833.0	103,313.8	102,794.7	102,275.5	113,167.0	×	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲9.0)		
					76,739.0	76,355.3	75,971.6	75,587.9		57,914.0
		②東北電力		27,094.0	26,958.5	26,823.1	26,687.6	55,253.0		
	化石燃料 使用量 ②	灯 油	ℓ	12,047.00	10,739.06	11,926.53	11,866.30	5,065.00	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△58.0)		
		都市ガス	m ³	315.0	313.4	311.9	310.3	165.0	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△47.6)		
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	167.9	167.1	166.2	165.4	194.2	×	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲15.7)		
		軽 油 (重機等使用量)	ℓ	1,026.00	1,020.87	1,015.74	1,010.61	395.00	○	
				(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△61.5)			
	ガソリン (発電機等使用量)	ℓ	1,607.85	1,599.81	1,591.77	1,583.73	1,248.74	○		
				(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△22.3)			
	①②由来の CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	91,689	88,124	90,772	90,314	74,440	○	
								(△18.8)		
	軽油燃費の改善 (車両分)	km/ℓ		4.70	4.72	4.75	4.77	4.71	×	
		km/ℓ削減率								(▲0.5)
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		867,329.00	864,513.00	859,062.00	855,456.00	848,049.00	×	
		走行距離(km)		1,579,866	1,579,866	1,579,866	1,579,866	1,548,607		
		使用量(ℓ)		336,174.00	335,082.56	332,969.77	331,572.10	328,701.00		
	ガソリン燃費の改善 (車両分)	km/ℓ		10.70	10.75	10.81	10.86	11.78	○	
		km/ℓ削減率								(▲0.5)
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		38,928.00	38,753.00	38,539.00	38,362.00	39,255.00	○	
		走行距離(km)		179,586	179,586	179,586	179,586	199,311		
		使用量(ℓ)		16,779.56	16,703.88	16,611.64	16,535.35	16,920.43		
水使用量の削減			m ³	4,697.0	4,673.5	4,650.0	4,626.5	4,377.0	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△6.8)		
一般廃棄物排出量の削減			kg	1,533.9	1,526.2	1,518.7	1,510.9	1,355.4	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△11.6)		
再資源化の向上	缶類	kg	294,700	296,174	297,647	299,121	233,516	×		
				(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(△20.8)			
	古紙類	kg	803,660	807,678	811,697	815,715	803,170	×		
				(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(△0.1)			
受託事業における環境 保全ニーズへの対応			—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	○	
グリーン調達の推進			グリーン 購入率 (金額)	事務用品全品目 (88.8％)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (85.9％)	○	

① 購入電力量の二酸化炭素排出係数の本社については、0.537kg-CO₂/kWh(2020年新潟県民電力調整後排出係数)、リサイクルセンターは、0.457kg-CO₂/kWh(2020年東北電力調整後排出係数)を使用。

② 一般廃棄物排出量については、自社から排出される排出量。

③ 当社の使用する化学物質はPRTR対象物質ではありません。

化学物質使用量削減については、使用量が少なく、自らの判断で削減することが出来ない為、環境目標の制定は行わず、化学物質を適正に管理していることを定期的に確認することとします。

④ △はマイナス表示で目標数値はこれ以下の値、▲プラス表示で目標数値はこれ以上の値とし、基準年比削減率又は増加率(%)を示します。

⑤ 化石燃料使用量には、車両管理をCO₂排出量ではなく燃費で行っている為、車両の燃料使用量は含まない。

⑥ 灯油使用量については、2022年度より新田破碎センターが追加となるので、2021年度の使用量を基準実績に加算して算出し、削減率は各年度に適用されている数値を使用して集計を行った。(下段は新田を含まない基準年実績数値)

⑦ 液化石油ガス使用量は1㎡=2.07kgとして換算しています。

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（①本社）と2023年度の実績

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				実 績	
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
				2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○：達成 ×：未達成	
二酸化炭素排出量の削減	用電 量 力 ①使	合計	kWh	76,739.0	76,355.3	75,971.6	75,587.9	88,217.0	×	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲15.0)		
				①新潟県民電力	76,739.0	76,355.3	75,971.6	75,587.9		57,914.0
		②東北電力	-	-	-	-	30,303.0			
	使化用石 量燃②料	灯 油	ℓ	9,094.00	9,048.53	9,003.06	8,957.59	2,220.00	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△75.6)		
		都市ガス	m ³	315.0	313.4	311.9	310.3	165.0	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△47.6)		
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	160.0	159.2	158.4	157.6	193.0	×	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲20.6)		
		ガソリン (重機等使用分)	ℓ	429.17	427.02	424.88	422.73	430.90	×	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲0.4)		
	①②由来の CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	66,523	66,191	65,859	65,525	53,031	○	
								(△20.3)		
	軽油燃費の改善 (車両分)		km/ℓ	4.70	4.72	4.75	4.77	4.72	×	
			km/ℓ削減率		(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(▲0.4)		
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		860,753	857,972	852,554	848,979	841,168	×	
			走行距離(km)	1,569,624	1,569,624	1,569,624	1,569,624	1,537,958		
			使用量(ℓ)	333,625.00	332,547.29	330,447.29	329,061.63	326,034.00		
	ガソリン燃費の改善 (車両分)		km/ℓ	10.73	10.78	10.84	10.89	11.74	○	
			km/ℓ削減率		(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(▲9.4)		
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		38,340	38,168	37,957	37,783	38,687	○	
			走行距離(km)	177,351	177,351	177,351	177,351	195,786		
			使用量(ℓ)	16,526.06	16,451.72	16,360.78	16,285.78	16,675.53		
水使用量の削減			m ³	4,559.0	4,536.2	4,513.4	4,490.6	4,215.0	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△7.5)		
一般廃棄物排出量の削減			kg	824.3	820.2	816.1	811.9	758.1	○	
					(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△8.0)		
再資源化の向上		古紙類	kg	803,660	807,678	811,697	815,715	803,170	×	
					(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(△0.1)		
グリーン調達の推進			グリーン 購入率 (金額)	事務用品全品目 (88.8%)	事務用品全品目 (80.0%以上)	事務用品全品目 (80.0%以上)	事務用品全品目 (80%以上)	事務用品全品目 (85.9%)	○	

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（②リサイクルセンター）と2023年度の実績

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				実 績	
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
				2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○:達成 ×:未達成	
二酸化炭素 排出量の削減	用電 量 力 ①使	合計	kWh	27,094.0	26,958.5	26,823.1	26,687.6	24,950.0	○	
		①新潟県民電力		-	-	-	-	-		
		②東北電力		27,094.0	26,958.5	26,823.1	26,687.6	24,950.0		
	使化 用石 量燃 ②料	灯油使用量	ℓ	675.00	671.63	668.25	664.88	775.00	×	
				(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲14.8)			
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	7.9	7.9	7.8	7.8	1.2	○	
				(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△84.8)			
		ガソリン (重機使用量)	ℓ	1,178.68	1,172.79	1,166.89	1,161.00	817.84	○	
			(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(△30.6)				
	①②由来の CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	16,847	16,762	16,677	16,594	15,236	○	
							(△9.6)			
	水使用量の削減			m ³	138.0	137.3	136.6	135.9	162.0	×
			(△0.5)	(△1.0)	(△1.5)	(▲17.4)				
再資源化の向上		缶類	kg	294,700	296,174	297,647	299,121	233,516	×	
			(▲0.5)	(▲1.0)	(▲1.5)	(△20.8)				

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（③中部下水処理場）と2023年度の実績

項 目		単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				実 績	
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
			2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○：達成 ×：未達成	
二酸化炭素排出 量の削減	軽油 （重機使用分）		ℓ	1, 026. 00	1, 020. 87	1, 015. 74	1, 010. 61	395. 00	○
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	2, 647	2, 634	2, 621	2, 607	1, 019	○
	ガソリン燃費の改善 （車両分）		km/ℓ	8. 82	8. 86	8. 91	8. 95	14. 39	○
			km/ℓ削減率						
				(▲0. 5)	(▲1. 0)	(▲1. 5)	(▲63. 2)		
参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		588	585	582	579	568	○	
	走行距離(km)		2, 235	2, 235	2, 235	2, 235	3, 525		
	使用量(ℓ)		253. 50	252. 16	250. 86	249. 57	244. 90		
一般廃棄物排出量の削減			kg	522. 1	519. 5	516. 9	514. 3	430. 4	○
				(△0. 5)	(△1. 0)	(△1. 5)	(△17. 6)		
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	○

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（④資源再生センター）と2023年度の実績

項 目			基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）			実 績	
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度	
			2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○：達成 ×：未達成
一般廃棄物排出量の削減		kg	94. 9	94. 4 (△0. 5)	94. 0 (△1. 0)	93. 5 (△1. 5)	85. 9 (△9. 5)	○
受託事業における環境保全 ニーズへの対応		—	—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	○

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（⑤新田破砕センター）と2023年度の実績

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				実 績	
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
				2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 3月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○：達成 ×：未達成	
二酸化炭素排出量の削減	化石燃料 使用量	灯油	ℓ (2021年度使用量)	1, 254. 00	—	1, 241. 46	1, 235. 19	1, 427. 00	×	
						(△1. 0)	(△1. 5)	(▲13. 8)		
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	3, 122	—	3, 091	3, 076	3, 553	×	
								(▲13. 8)		
	軽油燃費の改善 (車両分)		km/ℓ	4. 02	4. 04	4. 06	4. 08	3. 99	×	
					km/ℓ削減率	(▲0. 5)	(▲1. 0)	(▲1. 5)		(△0. 7)
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		6, 576	6, 541	6, 508	6, 477	6, 881		
		走行距離(km)		10, 242	10, 242	10, 242	10, 242	10, 649		
使用量(ℓ)		2, 549. 00	2, 535. 27	2, 522. 48	2, 510. 47	2, 667. 00				
一般廃棄物排出量の削減			kg	20. 3	20. 2	20. 1	20. 0	20. 5	×	
					(△0. 5)	(△1. 0)	(△1. 5)	(▲1. 0)		
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	○	

中長期の環境経営目標（2021年度～2023年度）（⑥亀田粗大センター室）と2023年度の実績

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				実 績	
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度		
				2020. 04月～ 2021. 03月	2021. 04月～ 2022. 03月	2022. 04月～ 2023. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	2023. 04月～ 2024. 03月	判定 ○:達成 ×:未達成	
排出量 の削減	化石燃料 使用量	灯油	ℓ	1, 024. 00	1, 018. 90 (△0. 5)	1, 013. 76 (△1. 0)	1, 008. 64 (△1. 5)	643. 00 (△37. 2)	○	
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	2, 550	2, 537	2, 524	2, 512	1, 601 (△37. 2)	○	
一般廃棄物排出量の削減			kg	72. 3	71. 9 (△0. 5)	71. 6 (△1. 0)	71. 2 (△1. 5)	60. 5 (△16. 3)	○	
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	○	

5. 環境経営目標の達成状況とその評価

2023年度は、2024年1月より本社を新潟市西区小針から同市西区亀貝に移転したことにより、本社における環境経営目標が大きく異なる数値となったが、移転による二酸化炭素排出量の変化をみるため、期中の目標値を変えずに行った。

全社における2023年度環境経営目標の各項目ごとの達成状況と各部門ごとの達成状況とその評価は以下のとおり。

(1) 全社における環境経営目標項目ごとの達成状況

① 二酸化炭素排出量の削減

ア. 電力使用量の削減

電力使用量に係る2023年度環境経営目標（以下、「環境目標」という）は、本社と況とリサイクルセンターの2部門の合計値で2020年度基準年実績（以下、「基準実績」という）1.5%減の102,275.5kWh以下を環境目標に掲げ取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して電力は9.0%増（9,334kWh増）の113,167.0kWhとなり目標未達成となった。



図5-1 電力使用量の推移

イ. 化石燃料使用量（灯油、都市ガス、液化石油ガス）の削減

灯油と都市ガス、液化石油ガスの化石燃料使用量に係る環境目標は、共に基準実績1.5%減の灯油11,866.30L以下（2021年度新田破碎センター室分使用量を含む）、都市ガス310.3m³以下、液化石油ガス165.4m³以下を環境目標に掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して灯油は本社・新田・リサイクルセンター・亀田の4部門の合計値で58.0%減（6,982.00L減）、都市ガスは本社1部門の合計値で47.6%減（150.0m³減）と2項目で目標達成となったが、液化石油ガスでは本社・リサイクルセンターの2部門の合計値で16.3%増（26.3m³増）となり目標未達成となった。

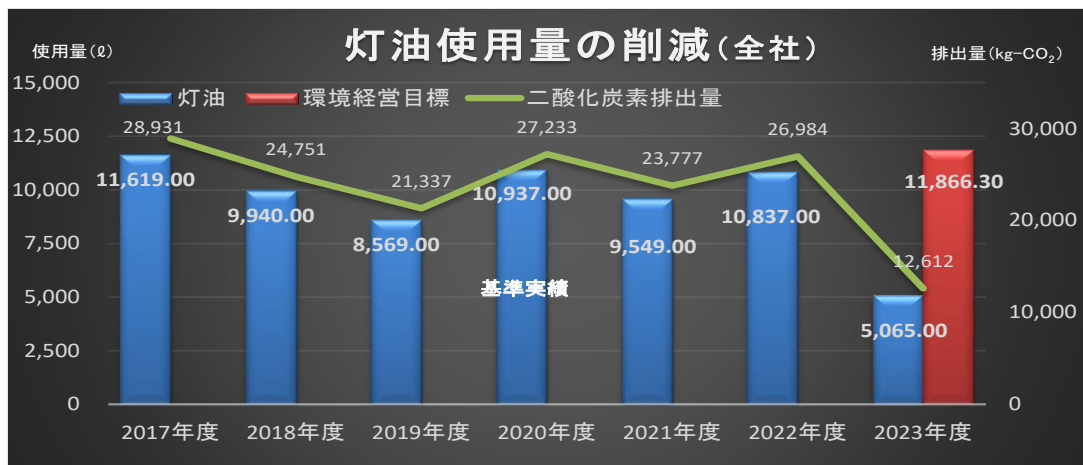


図 5-2 灯油使用量の推移

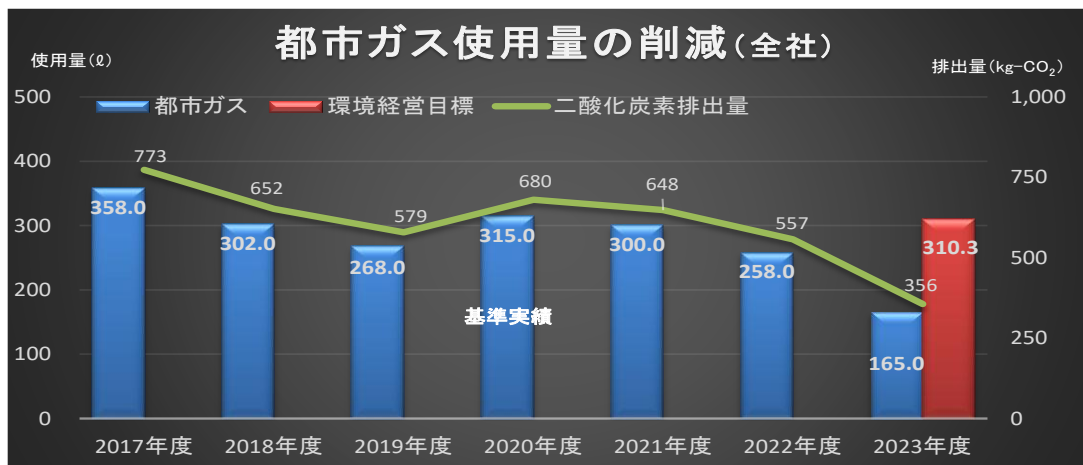


図 5-3 都市ガス使用量の推移

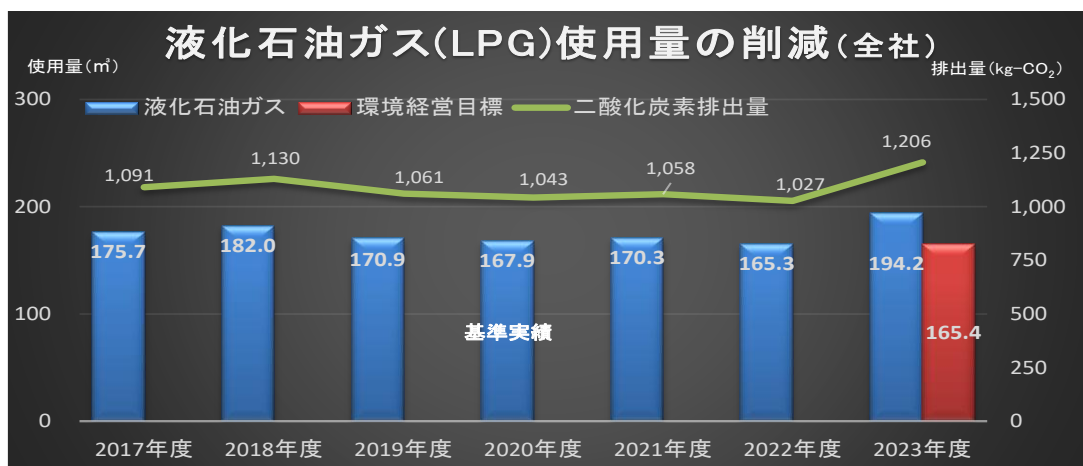


図 5-4 液化石油ガス(LPG)使用量の推移

ウ. 重機・発電機等使用に係る軽油・ガソリン使用量の削減

重機・発電機等使用の化石燃料使用量に係る軽油・ガソリン使用量の環境目標は、共に基準実績1.5%減の軽油1,010.61 L以下、ガソリン 1,583.73 L以下を環境目標掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して軽油は下水道課1部門の合計値で61.5%減(631.00 L)、ガソリンは本社・リサイクルセンターの2部門の合計値で22.3%減(359.11 L減)と2項目で目標達成となった。

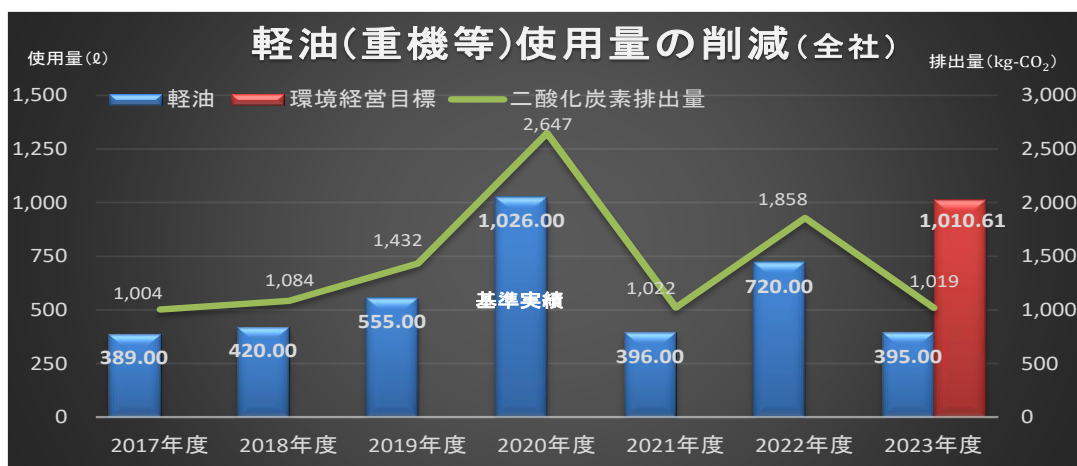


図 5-5 軽油(重機等)使用量の推移

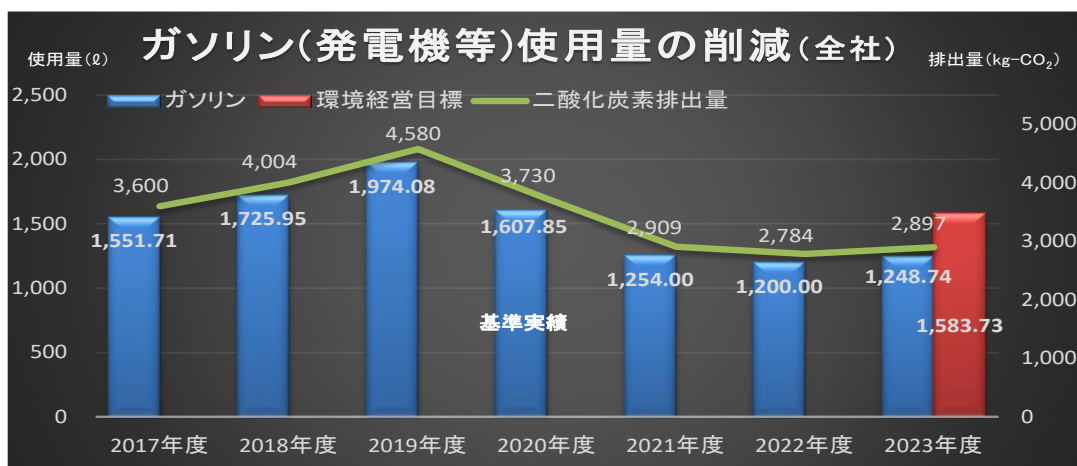


図 5-6 ガソリン(発電機等)使用量の推移

エ. 軽油・ガソリン燃費の向上

軽油・ガソリン燃費に係る環境目標は、共に基準実績 1.5%増の軽油燃費4.77km/ℓ以上、ガソリン燃費 10.86km/ℓ以上を環境目標として掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して軽油燃費は本社・新田の2部門の合計値で 0.2%増(0.01km/ℓ増)と目標未達成となり、ガソリン燃費は本社・下水道の2部門の合計値で10.1%増(1.08km/ℓ増)と目標達成となった。

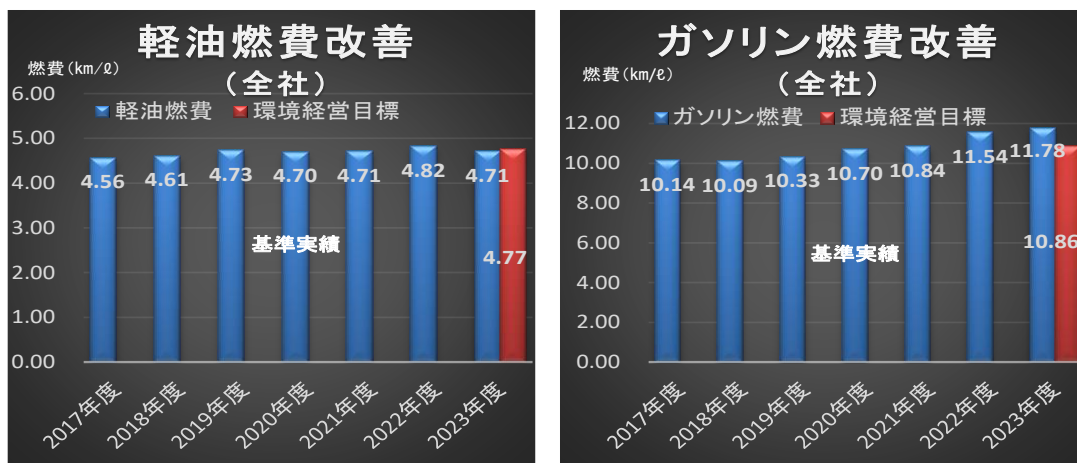


図 5-7 軽油・ガソリン燃費の推移

オ. 二酸化炭素排出量の削減

2023年度における自動車に係る軽油・ガソリンを含む二酸化炭素排出量は、基準実績と比較して5.0%減（50,968kg-CO₂減）の962,371kg-CO₂となった。

その中で二酸化炭素全排出量の90%近くを占める自動車に係る軽油・ガソリン使用量が最も環境負荷が大きい項目である。

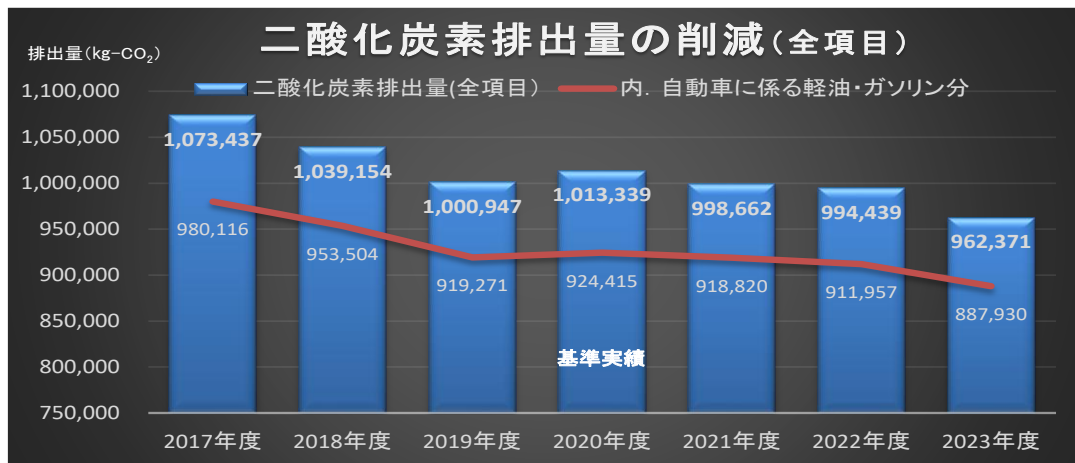


図 5-8 二酸化炭素排出量の推移

② 総排水量の削減

総排水量の削減に係る環境目標は、本社とリサイクルセンターの2部門の合計値で基準実績1.5%減の4,626.5m³以下を環境目標として掲げて取組みを行い、2023年の実績は、基準実績と比較して6.8%減（320m³減）となり目標達成となった。

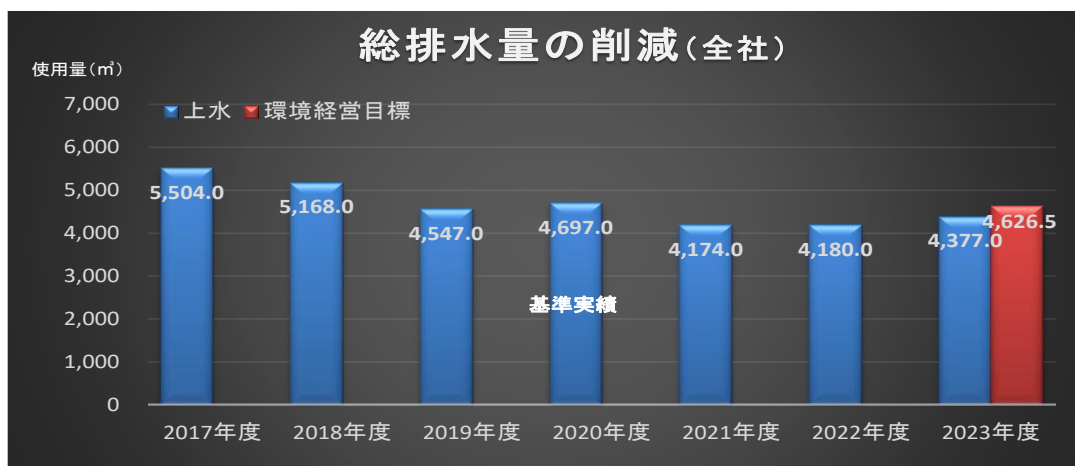


図 5-9 水使用量の推移

③ 一般廃棄物排出量の削減

一般廃棄物排出量の削減に係る環境目標は、リサイクルセンターを除く5部門の合計値で基準実績1.5%減の1,510.9kg以下を環境目標として掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して11.6%減（178.5kg減）となり目標達成となった。

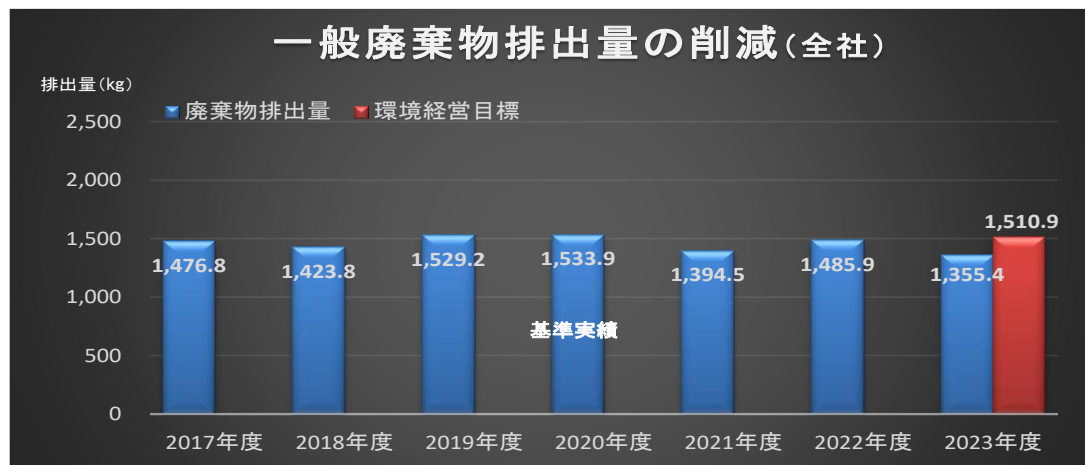


図 5-10 一般廃棄物排出量の推移

④ 事業系一般廃棄物の再資源化の推進

ア. 缶類

缶類（再資源化の向上）に係る環境目標は、基準実績1.5%増の299,121kg以上を環境目標に掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して20.8%減（61,184kg減）となり目標未達成となった。

イ. 古紙類

古紙類（再資源化の向上）に係る環境目標は、基準実績1.5%増の815,715kg以上を環境目標に掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、基準実績と比較して0.1%減（490kg減）となり環境目標未達成となった。

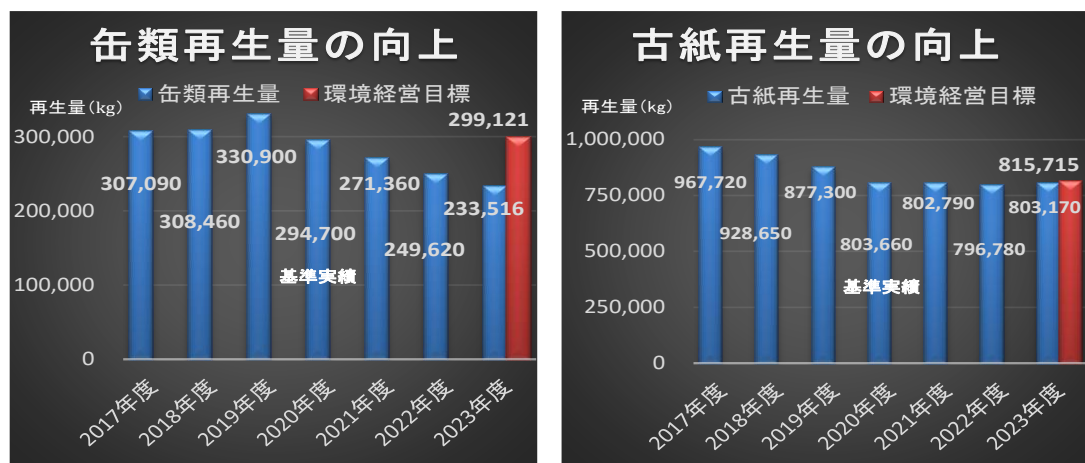


図 5-11 缶類・古紙再生量の推移

⑤ 受託事業における環境保全ニーズへの対応

新潟市の受託事業における環境保全ニーズへの対応については、下水道課・資源・新田・亀田の4部門にてニーズに対応した環境保全活動を進めることやその活動を記録することを環境目標に掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、施設運転の省エネ対策に取組み、活動結果を記録していることや重機等使用によるエコ安全ドライブも同様の取組みを行っていることから、4部門とも環境目標達成とした。

⑥ グリーン調達の推進

グリーン調達の推進に係る環境目標として、グリーン購入金額で80%以上を環境目標として掲げて取組みを行い、2023年度の実績は、購入金額で85.9%となり目標達成となった。

(2) 部門ごとの環境経営目標達成状況とその評価

① 本社

	単位	2020年度	2023年度			
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)
①電力	kWh	76,739.0	88,217.0	11,478.0	15.0%	×
①県民電力		76,739.0	57,914.0	-18,825.0	-	
②東北電力		-	30,303.0	30,303.0	-	
②灯油	ℓ	9,094.00	2,220.0	-6,874.0	-75.6%	○
③都市ガス	m ³	315.0	165.0	-150.0	-47.6%	○
④液化石油ガス	m ³	160.0	193.0	33.0	20.6%	×
⑤ガソリン(重機等)	ℓ	429.17	430.9	1.73	0.4%	×
上記CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	66,523	53,031	-13,492	-20.3%	-
⑥軽油燃費	km/ℓ	4.70	4.72	0.02	0.4%	×
CO ₂ 排出量 走行距離 使用量	kg-CO ₂	860,753	841,173	-19,580	-2.3%	-
	km	1,569,624	1,537,958	-31,666.00	-2.0%	-
	ℓ	333,625.00	326,036.00	-7,589.00	-2.3%	-
⑦ガソリン燃費	km/ℓ	10.73	11.74	1.01	9.4%	○
CO ₂ 排出量 走行距離 使用量	kg-CO ₂	38,340	43,023	4,683	12.2%	-
	km	177,351	195,786	18,435.00	10.4%	-
	ℓ	16,526.06	16,675.53	149.47	0.9%	-
⑧総排水量	m ³	4,559.0	4,215.00	-344.00	-7.5%	○
⑨廃棄物排出量	kg	824.3	758.10	-66.20	-8.0%	○
⑩古紙類(再資源化)	kg	803,660	803,170	-490.00	-0.1%	×
⑪グリーン調達	%	88.8%	83.4%	-	-	○

2024年1月より本社社屋を新潟市西区小針から同市西区亀貝に移転したことにより、本社における電気・灯油・都市ガス・液化石油ガスの4項目について2023年度の環境経営目標値と大きく異なる結果となったが、移転による本社の二酸化炭素排出量の推移をみるため、期中の目標値を変更せずに行った。

結果、1月の移転により冬期間の暖房使用を灯油からエアコン（電力）に切替え、また都市ガスを液化石油ガスに統一したことで本社における二酸化炭素排出量の削減（重機使用ガソリン含む）に大きく影響したが、2020年基準実績と比較して20.3%減（13,492kg-CO₂減）の53,031kg-CO₂と大幅な減少となった。

また、環境目標未達成の項目は、2020年基準実績と比較して重機使用ガソリン0.4%増（1.73L増）、軽油燃費改善0.4%増（0.02km/ℓ増）、古紙類（再資源化の向上）0.1%減（490kg減）と環境目標には届かなかったが、微増微減の状態となっており、作業人員や作業環境、顧客の削減意識の向上など様々な要因が重なり、目標達成には難しい状況となっているが、次年度以降もエコアクション21の取組みを通じて、できる範囲内での削減に努めていく。

② リサイクルセンター

	単位	2020年度	2023年度			
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)
①電力	kWh	27,094.0	24,950.0	-2,144.0	-7.9%	○
①県民電力		-	-	-	-	
②東北電力		27,094.0	24,950.0	-2,144.0	-	
②灯油	ℓ	675.00	775.00	100.00	14.8%	×
③液化石油ガス	m ³	7.9	1.2	-6.7	-84.8%	○
④ガソリン(重機等)	ℓ	1,178.68	817.84	-360.84	-30.6%	○
上記CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	16,847	15,236	-1,611	-9.6%	-
⑤総排水量	m ³	138.0	162.0	24.0	17.4%	×
⑥缶類(再資源化)	kg	294,700	233,516	-61,184	-20.8%	×

リサイクルセンターにおける環境目標は、二酸化炭素排出量の削減に係る電力・灯油・液化石油ガス・重機使用ガソリンの各使用量の削減4項目と総排水量の削減、缶類（再資源化の向上）の2項目で取組みを行い、2022年度の目標達成状況は、基準実績と比較して電力7.9%減（2,144kWh減）、液化石油ガス84.8%減（6.7m³減）、重機使用ガソリン30.6%減（360.84L減）の3項目で目標達成となったが、灯油14.8%増（100.00L増）、総排水量17.4%増（24.0m³増）、缶類20.8%減（61,184kg減）の3項では環境目標未達成となった。

コロナ化以降、事業所から排出される缶類が年々減少するなか、プレス機器や重機の稼働時間が減少し手洗いなどの給湯器使用の頻度の減少、稼働時間外の清掃時間の増加や冬期間の暖房使用の増加という結果となっている。

資源・新田・亀田などの各施設と同様に作業量により影響を受けやすい部門であるが、次年度以降も缶類の再資源化については、少量でも資源物として回収し選別の向上を図り、可能な範囲で処理量の確保に努める。また、その他の項目においても引き続き削減への取組みに努めていく。

③ 下水道課（新潟市中部下水処理場内）

	単位	2020年度	2023年度			
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)
①軽油(重機)	ℓ	1,026.00	395.00	-631.00	-61.5%	○
上記CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,647	1,019	-1,628	-61.5%	-
②ガソリン燃費	km/ℓ	8.82	14.39	5.57	63.2%	○
	CO ₂ 排出量	588.00	568.00	-20.00	-3.4%	-
	走行距離	2,235	3,525	1,290.00	57.7%	-
	使用量	253.50	244.90	-8.60	-3.4%	-
③廃棄物排出量	kg	522.1	430.4	-91.7	-17.6%	○
④省エネ運転管理	-	○	○	-	-	○

下水道課における環境目標は、二酸化炭素排出量の削減に係る重機使用における軽油の削減1項目とその他ガソリン燃費・一般廃棄物排出量の削減、受託事業における環境保全ニーズへの対応として施設の省エネ運転管理の3項目で取組みを行い、2023年度の目標達成状況は、環境実績と比較して重機使用軽油61.5%減（631.00L減）、ガソリン燃費63.2%増（5.57km/ℓ）、一般廃棄物排出量17.6%減（91.7kg減）の3項目で目標達成となった。なお、環境保全ニーズへの対応では省エネ運転管理に関して新潟市と協議し実践しており環境目標達成とした。

次年度以降も、作業量に大きく起因する重機使用ガソリンのふんわりアクセルの徹底など各項目の削減に努めていく。

④ 資源再生センター室（新潟市資源再生センター施設内）

	単位	2020年度	2023年度			
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)
①廃棄物排出量	kg	94.9	85.9	-9.0	-9.5%	○
②省エネ運転管理	-	-	○	-	-	○

資源再生センター室における環境目標は、一般廃棄物排出量の削減及び受託事業における環境保全ニーズへの対応として施設の省エネ運転管理の2項目で取組みを行い、2023年度の目標達成状況は、基準実績と比較して一般廃棄物排出量9.5%減（9.0kg減）で目標達成となった。なお、環境保全ニーズへの対応では省エネ運転管理に関して新潟市と協議し実践しており環境目標達成とした。

資源再生センター室は、2024年3月で施設の停止に伴い業務委託終了となった。

⑤ 新田破砕センター室（新潟市新田清掃センター施設内）

	単位	2020年度	2023年度				
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)	
①灯油	ℓ	1,254.00	1,427.0	173.0	13.8%	×	
上記CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	3,122	3,553	431	13.8%	-	
②軽油燃費	km/ℓ	4.02	3.99	-0.03	-0.7%	×	
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	6,576	6,881	305	4.6%	-
	走行距離	km	10,242	10,649	407.00	4.0%	-
	使用量	ℓ	2,549.00	2,667.00	118.00	4.6%	-
③廃棄物排出量	kg	20.3	20.5	0.2	1.0%	×	
④省エネ運転管理	%	-	○	-	-	○	

新田破砕センター室における環境目標は、二酸化炭素排出量の削減に係る灯油使用量の削減と軽油の燃費改善及び一般廃棄物排出量の削減、受託事業における環境保全ニーズの対応として施設の省エネ運転管理の4項目で取組みを行い、2023年度の目標達成状況は、基準実績（灯油は2021年度基準実績）と比較して灯油13.8%増（173.0L増）、軽油燃費0.7%減（0.03km/ℓ減）、一般廃棄物排出量1.0%増（0.2kg増）となり、3項目で環境目標未達成となった。なお、環境保全ニーズへの対応では省エネ運転管理や重機の省エネ安全運転に関して新潟市と協議し実践しており環境目標達成とした。

灯油使用については処理場内の暖房器具使用に限定されており、処理場の搬入量（作業量）によって休憩時間が変動するため使用量の増加が原因となっていること、軽油燃費では給油1回分の燃費の差で許容範囲内、また一般廃棄物排出量でも許容範囲内であった。

次年度以降、施設作業の範囲内で削減に努めていく。

⑦ 亀田粗大センター室（新潟市亀田清掃センター施設内）

	単位	2020年度	2023年度			
		(基準実績)	(実績値)	(増減)	(増減率)	(達成状況)
①灯油	ℓ	1,024.00	643.00	-381.00	-37.2%	○
上記CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,550	1,601	-949	-37.2%	-
②廃棄物排出量	kg	72.3	60.5	-11.8	-16.3%	○
③省エネ運転管理	%	-	○	-	-	○

亀田粗大センター室における環境目標は、灯油使用量の削減、一般廃棄物排出量の削減、受託事業における環境保全ニーズへの対応として施設の省エネ運転管理の3項目で取組みを行い、2023年度の目標達成状況は、基準実績と比較して灯油37.2%減（381.00L減）、一般廃棄物排出量16.3%減（11.8kg減）となり、2項目で目標達成となった。なお、環境保全ニーズへの対応では省エネ運転管理に関して新潟市と協議し実践しており目標達成とした。

次年度以降、引続き施設作業の範囲内で削減に努めていく。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の環境経営計画

(1) 環境経営計画とその取組結果の評価

環境経営計画の実施状況を点検・確認した結果は下記のとおり。

エコアクション21 環境経営計画の取組点検結果

環境目標		環境経営計画の内容	取組み状況評価点					
			本 社	リサイク ルセン ター	下水道課	資源再生 センター	新田破碎 センター	亀田粗大 センター
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	未使用時・昼休み時の消灯の励行（事務室など）	3	3	3	3	3	3
		長時間不使用時又は帰宅時におけるパソコン・プリンター・電気ポットの電源オフの励行	3	-	3	3	3	3
		冷房（空調）は必要な場所や時間に限定	3	-	2	3	3	3
		最大需要電力 デマンド67Kwの徹底、予測時の台数管理	3	-	-	-	-	-
		プルスイッチ活用による蛍光灯の間引き点灯	3	-	-	-	-	-
		運転マニュアル徹底による効率的な工場機器の運転	-	3	-	-	-	-
		工場内の換気等による温室管理	-	3	-	-	-	-
		夏季室内温度を28℃以上の徹底（事務室など）	3	3	3	3	3	3
		夏季軽装執務（クールビズ）の励行	3	3	3	3	3	3
	都市ガス	冬季室内温度を20℃以下の徹底（事務室・厚生棟など）	3	2	3	3	2	3
		冬季厚着執務（ウォームビズ）の励行	3	3	3	3	3	3
		戸締り等の外部からの熱の出入りの管理	3	-	-	-	-	-
		不要箇所、不要時間の暖房停止	3	3	-	-	3	3
	ガソリン・軽油	発電機の効率的運転、不要時の停止	-	-	-	-	-	-
		定期的な車両整備	3	3	3	3	3	3
		運転管理簿による運転の自主管理	3	-	-	-	-	-
		タイヤ空気圧の点検	3	-	3	-	3	-
		ふんわりアクセルの実施、急ブレーキ・急発進の抑制	3	3	3	3	3	-
		定速運転の励行	3	-	3	3	3	-
		重機の省エネ運転	3	3	3	3	3	3
		可能な範囲でのアイドリングストップの励行	3	3	3	3	3	-
		早めのシフトアップ	3	-	3	-	-	-
		無駄の少ない冷房・暖房の励行	3	-	3	3	3	-
		水漏れの点検・修繕	3	3	3	3	3	3
		洗車、床清掃等の節水の励行	3	3	-	-	-	-
		節水啓発表示の掲示	3	3	-	-	-	-
		節水の励行	3	3	3	3	3	3
		処理水再利用の励行	3	-	-	-	-	-
一般廃棄物排出量の削減		使用済コピー用紙の裏面再利用、使用済み封筒の再利用	3	-	3	3	3	3
		缶、ビン、新聞・雑誌類・使用済コピー用紙等の分別	3	-	3	3	3	3
		ごみのリデュース対策の実践	3	-	3	3	3	3
缶類の再資源化の向上		少量でも資源物として回収し搬入量を確保	-	2	-	-	-	-
		選別精度を重視した効率化な運転	-	3	-	-	-	-
古紙類の再資源化の向上		少量でも資源物として回収し搬入量を確保	2	-	-	-	-	-
		顧客への古紙等の分別、リサイクルの依頼	3	-	-	-	-	-
化学物質使用量の削減		化学物質（テイクワン、ピーピースルー等）の適正な管理	3	-	-	-	-	-
受託事業における環境保全ニーズへの対応		施設運転の省エネ対策の検討、実施	-	-	3	3	3	3
		施設運転時の電気Maxデマンド値の遵守	-	-	3	3	-	3
		焼却施設との連携の実施	-	-	-	-	3	-
		実績とりまとめ	-	-	3	3	3	3
グリーン購入の推進		グリーン調達の実行	3	-	-	-	-	-

※評価点：「3」実施できた。「2」一部実施しているが、さらに徹底が必要。「1」ほとんど実施できなかった。「-」該当なし。

(2) 環境・地域参加活動の取組状況

株式会社新潟市環境事業公社は、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的に1969年に株式会社新潟市清掃公社として設立した。

創業時から、し尿汲取りや浄化槽の維持管理、ごみの収集運搬を行っており、生活様式が変わり、新潟市が政令指定都市として大きく発展する中で、下水処理場の維持管理やビルメンテナンスなど、時代の変化に合わせた新たな事業にも取組んできた。

私たちは清掃業を通じて、これからも環境負荷の少ない、誰もが安心して暮らすことができる持続可能な地域社会の実現に努力しています。その取組みの一環として、2023年度における下記の環境・地域参加活動を実施した。

今後も可能な範囲内で市民、行政と一体となり、取組みを続けていく。

① 2023年5月 西川沿いのごみ拾い実施

毎年、構内側溝清掃終了後、ボランティア活動の一環として、本社周辺の西川沿いのごみ拾いを行った。

② 2023年6月から9月中旬 緑のカーテン設置（中部下水処理場事務所）

中部下水処理場の公社事務所窓際全面に朝顔のプランターを並べ、緑のカーテンとし、直射日光による温室上昇を防いだ。

③ 2023年11月～12月 処理水の再利用

構内の消雪水の一部として、排水処理施設の処理水を再利用し、地下水の保全に努めた。

(3) 次年度の環境経営目標

次年度（2024年）の環境経営目標については、2024年1月本社移転により基準年実績数値がないため、移転前後が混同する2023年度を参考値として中長期（3カ年）の環境経営目標を設定した。その他の部門についても、2023年度を基準年実績としての環境経営目標を設定し、各部門とも削減に努めていく。

なお、地方公共団体の施設維持管理業務を受託している資源再生センター室において、2024年3月31日を以って閉鎖となり施設維持管理業務が終了したが、2024年4月1日より本社内に新設したエコファクトリーにて一部作業を受託したため、2024年度のエコアクション21マネジメントシステムの範囲を下記のとおりし環境経営目標を設定する。

① 本 社

② 第一事業部 業務課 リサイクルセンター

③ 第二事業部 下水道課（新潟市中部下水処理場内）

④ 第二事業部 清掃課 エコファクトリー（本社敷地内）

⑤ 第二事業部 清掃課 新田破砕センター室（新潟市新田清掃センター内）

⑥ 第二事業部 清掃課 亀田粗大センター室（新潟市亀田清掃センター内）

*対象事業所は①本社及び②リサイクルセンター

*③～⑥は地方公共団体の施設維持管理業務等を行う部署及び場所

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（全社）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
二酸化炭素排出量の削減	用電 量 力 ①使	合計	kWh	113, 167. 0	138, 669. 1	138, 619. 2	138, 569. 3	103, 833. 0	
		①新潟県民電力		57, 914. 0	-	-	-	76, 739. 0	
		②東北電力		55, 253. 0	138, 669. 1	138, 619. 2	138, 569. 3	27, 094. 0	
	化石 燃 料 使 用 量 ②	灯 油	ℓ	5, 065. 00	3, 147. 31	3, 141. 62	3, 135. 93	9, 769. 00	
		都市ガス	m ³	165. 0	-	-	-	315. 0	
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	194. 2	268. 2	268. 2	268. 2	167. 9	
		軽 油 (重機等使用量)	ℓ	395. 00	394. 21	393. 42	392. 63	1, 026. 00	
		ガソリン (発電機等使用量)	ℓ	1, 248. 74	1, 246. 24	1, 243. 75	1, 241. 24	1, 607. 85	
	①②由来の CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	74, 440	76, 782	76, 738	76, 692	86, 017	
	軽油燃費の改善 (車両分)		km/ℓ	4. 71	4. 72	4. 73	4. 74	4. 70	
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		848, 049	845, 755	843, 967	842, 205	867, 329	
		走行距離(km)		1, 548, 607	1, 548, 607	1, 548, 607	1, 548, 607	1, 579, 866	
		使用量(ℓ)		328, 701. 00	327, 812. 01	327, 119. 00	326, 436. 05	336, 174. 00	
	ガソリン燃費の改善 (車両分)		km/ℓ	11. 78	11. 80	11. 83	11. 85	10. 70	
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		39, 255	39, 191	39, 092	39, 026	38, 928	
		走行距離(km)		199, 311	199, 311	199, 311	199, 311	179, 586	
		使用量(ℓ)		16, 920. 43	16, 892. 68	16, 850. 00	16, 821. 55	16, 779. 56	
水使用量の削減			m ³	4, 377. 0	4, 368. 3	4, 359. 5	4, 350. 7	4, 697. 0	
一般廃棄物排出量の削減			kg	1, 269. 5	1, 267. 0	1, 264. 5	1, 261. 9	1, 237. 9	
再資源化の向上		缶類	kg	233, 516	233, 983	234, 450	234, 917	294, 700	
		古紙類	kg	803, 170	804, 776	806, 383	807, 989	803, 660	
受託事業における環境 保全ニーズへの対応			—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	
グリーン調達の推進			グリーン 購入率 (金額)	事務用品全品目 (88. 8％)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (80％以上)	事務用品全品目 (85. 9％)	

- ① 購入電力量の二酸化炭素排出係数の本社については、0.537kg-CO₂/kWh(2020年新潟県民電力調整後排出係数)、リサイクルセンターは、0.457kg-CO₂/kWh(2020年東北電力調整後排出係数)を使用。
- ② 一般廃棄物排出量については、自社から排出される排出量。
- ③ 当社の使用する化学物質はPRTR対象物質ではありません。
化学物質使用量削減については、使用量が少なく、自らの判断で削減することが出来ない為、環境目標の制定は行わず、化学物質を適正に管理していることを定期的に確認することとします。
- ④ △はマイナス表示で目標数値はこれ以下の値、▲プラス表示で目標数値はこれ以上の値とし、基準年比削減率又は増加率（％）を示します。
- ⑤ 化石燃料使用量には、車両管理をCO₂排出量ではなく燃費で行っている為、車両の燃料使用量は含まない。
- ⑥ 灯油使用量については、2022年度より新田破碎センターが追加となるので、2021年度の使用量を基準実績に加算して算出し、削減率は各年度に適用されている数値を使用して集計を行った。（下段は新田を含まない基準年実績数値）
- ⑦ 液化石油ガス使用量は1 m³＝2.07kgとして換算しています。

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（①本社）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
二酸化炭素排出量の削減	用電量 ①使	合計	kWh	88,217.0	113,769.0	113,769.0	113,769.0	76,739.0	
				(実績算出期間) (目標未設定) (目標未設定)					
				①新潟県民電力	57,914.0	-	-	-	76,739.0
		②東北電力	30,303.0	113,769.0	113,769.0	113,769.0	-		
	使用石炭 ②料	灯 油	ℓ	2,220.00	308.00	308.00	308.00	9,094.00	
				(実績算出期間) (目標未設定) (目標未設定)					
		都市ガス	m ³	165.0	-	-	-	315.0	
				(-) (-) (-)					
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	193.0	267.0	267.0	267.0	160.0	
				(実績算出期間) (目標未設定) (目標未設定)					
		ガソリン (重機等使用分)	ℓ	430.90	430.04	429.18	428.31	429.17	
				(△0.2) (△1.0) (△1.5)					
	①②由来のCO ₂ 排出量		kg-CO ₂	53,031	55,415	55,413	55,411	66,523	
	軽油燃費の改善 (車両分)	km/ℓ		4.72	4.73	4.74	4.75	4.70	
		km/ℓ削減率			(▲0.2)	(▲0.4)	(▲0.6)		
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	841,168		838,886	837,116	835,354	860,753	
			走行距離(km)		1,537,958	1,537,958	1,537,958	1,569,624	
			使用量(ℓ)		326,034.00	325,149.61	324,463.57	323,780.62	333,625.00
	ガソリン燃費の改善 (車両分)	km/ℓ		11.74	11.76	11.79	11.81	10.73	
		km/ℓ削減率			(▲0.2)	(▲0.4)	(▲0.6)		
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	38,687		38,624	38,526	38,461	38,340	
			走行距離(km)		195,786	195,786	195,786	195,786	177,351
使用量(ℓ)			16,675.53	16,648.28	16,606.03	16,578.02	16,526.06		
水使用量の削減			m ³	4,215.0	4,206.6	4,198.1	4,189.7	4,559.0	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
一般廃棄物排出量の削減			kg	758.1	756.6	755.1	753.6	824.3	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
再資源化の向上		古紙類	kg	803,170	804,776	806,383	807,989	803,660	
				(▲0.2)	(▲0.4)	(▲0.6)			
グリーン調達の推進			グリーン購入率(金額)	事務用品全品目(88.8%)	事務用品全品目(80.0%以上)	事務用品全品目(80.0%以上)	事務用品全品目(80%以上)	事務用品全品目(92.7%)	

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（②リサイクルセンター）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
排出量の削減	用電量 ①使	合計	kWh	24,950.0	24,900.1	24,850.2	24,800.3	27,094.0	
					(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)		
		①新潟県民電力		-	-	-	-		
		②東北電力		24,950.0	24,900.1	24,850.2	24,800.3	27,094.0	
	使用石炭 ②料	灯油使用量	ℓ	775.00	773.45	771.90	770.35	675.00	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
		液化石油ガス (LPG使用量)	m ³	1.2	1.2	1.2	1.2	7.9	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
		ガソリン (重機使用量)	ℓ	817.84	816.20	814.57	812.93	1,178.68	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
①②由来の CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	15,236	15,206	15,176	15,145	16,847		
水使用量の削減			m ³	162.0	161.7	161.4	161.0	138.0	
				(△0.2)	(△0.4)	(△0.6)			
再資源化の向上		缶類	kg	233,516	233,983	234,450	234,917	294,700	
				(▲0.2)	(▲0.4)	(▲0.6)			

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（③中部下水処理場）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
二酸化炭素排出 量の削減	軽油 （重機使用分）		ℓ	395. 00	394. 21 (△0. 2)	393. 42 (△0. 4)	392. 63 (△0. 6)	1, 026. 00	
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	1, 019	1, 017	1, 015	1, 013	2, 647	
	ガソリン燃費の改善 （車両分）	km/ℓ	14. 39	14. 42 (▲0. 2)	14. 45 (▲0. 4)	14. 48 (▲0. 6)	8. 82		
		km/ℓ削減率							
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		568	567	566	565	588	
		走行距離(km)		3, 525	3, 525	3, 525	3, 525	2, 235	
		使用量(ℓ)		244. 90	244. 40	243. 97	243. 53	253. 50	
一般廃棄物排出量の削減			kg	430. 4 (△0. 2)	429. 5 (△0. 4)	428. 7 (△0. 4)	427. 8 (△0. 6)	321. 0	
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（④エコファクトリー）

項 目	単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
		2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
受託事業における環境保全 ニーズへの対応	—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（⑤新田破碎センター）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
二酸化炭素排出量の削減	化石燃料 使用量	灯油	ℓ	1, 427. 00	1, 424. 15	1, 421. 29	1, 418. 44	—	
				(△0. 2)	(△0. 4)	(△0. 6)			
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	3, 553	3, 546	3, 539	3, 532	—	
	軽油燃費の改善 (車両分)	km/ℓ	3. 99	4. 00	4. 01	4. 01	4. 02		
		km/ℓ削減率		(▲0. 2)	(▲0. 4)	(▲0. 6)			
	参考値	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		6, 881	6, 869	6, 851	6, 851	6, 576	
		走行距離(km)		10, 649	10, 649	10, 649	10, 649	10, 242	
		使用量(ℓ)		2, 667. 00	2, 662. 40	2, 655. 43	2, 655. 43	2, 549. 00	
一般廃棄物排出量の削減			kg	20. 5	20. 5	20. 4	20. 4	20. 3	
				(△0. 2)	(△0. 4)	(△0. 6)			
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	

中長期の環境経営目標（2024年度～2026年度）（⑥亀田粗大センター室）

項 目			単位 又は 区分	基準年実績	環境目標（基準年比削減率％）				参考
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2020年度	
				2023. 04月～ 2024. 03月	2024. 04月～ 2025. 03月	2025. 04月～ 2026. 03月	2026. 04月～ 2027. 03月	2020. 04月～ 2021. 03月	
排 出 量 の 削 減 二 次 酸 化 炭 素	化石燃料 使用量	灯油	ℓ	643. 00	641. 71 (△0. 2)	640. 43 (△0. 4)	639. 14 (△0. 6)	—	
	上記CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	1, 601	1, 598	1, 595	1, 591	—	
一般廃棄物排出量の削減			kg	60. 5	60. 4 (△0. 2)	60. 3 (△0. 4)	60. 1 (△0. 6)	72. 3	
受託事業における環境保全 ニーズへの対応			—	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	実施及び記録	

(4) 次年度の環境経営計画

現行の環境経営計画を継続するが、今年度の環境経営計画取組点検結果で缶類・古紙類の再資源化の向上において、少量でも資源物として回収し搬入量を確保の項目で評価「2」となる本社とリサイクルセンターでは顧客に依頼するなど、回収量の確保に努めるほか、各部門で連携し目標達成となるよう環境経営計画の実施に努める。

また、代表者の指示に基づき全従業員に対し、エコアクション21の取組みに対する結果等の周知を行い、全員が意識向上が出来るよう活動を進めると共に、環境経営目標に即した環境経営計画となるよう必要時は適宜見直しを行っていく。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

*③～⑥は地方公共団体の施設維持管理業務を行う部署及び場所

当社が規制対象となる環境関連法令は、下表に掲げる法令です。

下記の環境関連法令について、遵守状況を自主点検した結果、違反はないことを確認しました。

No.	関係法令
1	廃棄物処理法
2	水質汚濁防止法
3	騒音規制法
4	振動規制法
5	浄化槽法
6	新潟市浄化槽の保守点検業者の登録に関する条例
7	悪臭防止法
8	家電リサイクル法
9	新潟市生活環境の保全等に関する条例
10	新潟県生活環境の保全等に関する条例
11	新潟市産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例
12	消防法 新潟市火災予防条例
13	毒物・劇物取締法
14	道路交通法
15	道路運送車両法
16	建築物における衛生的環境の確保に関する法律
17	下水道処理施設維持管理業者登録規程
18	フロン排出抑制法
19	自動車リサイクル法

(2) 違反、訴訟等の有無

当社は、関係当局から違反などの指摘は、ありませんでした。

また訴訟もありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体の評価

2020年度を基準実績とした3カ年の中長期環境経営目標の最終年となる取組みの結果は、2023年3月に地方公共団体の施設維持管理業務の太夫浜埋立の閉鎖に伴い2023年度エコアクション21マネジメント対象範囲が7部門から6部門へと変更となったほか、本社部門が2024年1月より小針から亀貝に新社屋移転となり各項目の実績値が環境経営目標値と異なる結果となったが、本社の二酸化炭素排出が移転前と移転後でどのような増減が発生するか把握するため、環境経営目標を変更せずに取組みを行った。

結果、全社では古紙類及び缶類の再資源化の向上項目以外で目標達成となるが、部門別では、本社ではLPG使用量・古紙類の再資源化、下水道課は一般廃棄物排出量、新田は灯油使用量、リサイクルセンターは灯油使用量・缶類の再資源化の項目が目標未達成となる。LPGについては新社屋移転に伴い都市ガスの使用がなくなりすべてLPGに切替えたことが要因となり、灯油については各施設での作業量が減少したことで暖房器具の使用が増えたことが要因、また一般廃棄物排出量については下水道課にて古くなった資料や書類をシュレッター処理や古紙として排出した事が要因となる。最後に再資源化の向上の古紙類・缶類は排出事所のエコ意識の向上で回収量が減少している事も要因となる。

次年度では、目標未達成となった項目は改善策を取入れた活動に努めると共に、2024年度より新たな3カ年の環境計目標を設定し、社員全員で全項目の目標達成に向けてエコアクション21の取組みを進める。

(2) 見直しの結果

・環境経営方針

会社を取り巻く状況の変化もない為、変更の必要性なし。

・環境経営目標

2024年度は2023年度を基準実績とした新たな3カ年の環境経営目標の算定となるが、新社屋移転に伴う本社の環境経営目標の設定や資源再生センターの業務委託の終了に伴うエコファクトリー（新缶工場）の稼働など新たな環境経営目標を算定するにあたり2023年1月からの新社屋移転での数値を参考に環境経営目標を算定し、各項目で環境経営目標の達成に向けた取組みに努めること。

・環境経営計画

2024年度環境経営計画は現行の計画を継続し、環境経営目標に即した活動計画となるよう、必要時には、適宜見直しを行っていくこと。

・実施体制

組織体制の変更時、適宜、見直しを行っている為、変更の必要性なし。

(3) 代表者の指示事項

2023年度は、新社屋移転のなか全社で缶類及び古紙類の再資源化の2項目が目標未達成となったが、部門別でみると本社では重機使用ガソリンや軽油燃費、リサイクルセンターなどでは灯油や上水、軽油燃費、一般廃棄物など移転とは関係のない項目での目標未達成があった。次年度では是正措置を基に、目標達成に向けた取組みを進めると共に、その他の項目でも引続き目標達成となるようE R 21の取組みに対する結果の周知や意識向上が出来る体制の構築に努めること。

また、2024年度は2023年度を基準実績とした新たな3カ年の環境経営目標の算定となるが、新社屋移転に伴う本社の環境経営目標の設定や資源再生センターの業務委託の終了に伴うエコファクトリー（新缶工場）の稼働など新たな環境経営目標を算定するにあたり2023年1月からの新社屋移転での数値を参考に環境経営目標を算定し、各項目で環境経営目標の達成に向けた取組みに努めること。